



たかやま

令和6年度 第7号

発行日：R6.11.18

発行元：高山小学校

文責：校長 東 忠孝

今週に入り、一段と寒さが増してきました。最近のニュースでは、日本の四季がなくなっていくのではないかと騒がれています。先週まで所によつては夏日を記録するところもあり、一体いつが秋なのか分からない天候です。記録的な猛暑日、夏日と続き、気がつけば、十一月後半になっています。もう既に二季になってきているとも言われていました。あるコメンテーターは「別にいいんじゃないか」という発言をしていましたが、四季を感じながら育ってきた者としては、日本の伝統と文化がどうなるのか心配でもあり、寂しい気がします。その気候の変化によつてまた、新たな課題も出てくることでしょう。子ども達には益々予測できない変化に対応する力が必要になってくることが予想されます。鍋がおいしい季節、野菜の高騰が続かないことを願います。

高山小人権週間・人権教育講演会「生命の授業」

十月十六日から十月二十五日までを人権週間として、人権・同和教育に関する取組を通して、お互いを認め合う態度を育み、人権意識を高めるねらいで、ミニ集会、授業公開、人権教育講演会、人権集会といった活動を行いました。ミニ集会では、事前に考えた『自分のすきなところや頑張っていること』を高山っ子班の友達に伝える「わたしのここがすき!」という活動を行いました。人権集会では、図書委員の人権に関する本の読み聞かせと生活委員会の企画「晴れのもとクイズ」を行いました。



ズ」を行いました。「晴れのもとクイズ」は、事前に班の友達の良いところを書いたカードを使い、クイズ形式で紹介するものです。誰もが笑顔になる温かい雰囲気的时间となりました。

授業公開では、人権・同和教育に視点をあてた授業を保護者の方に見ていただき、人権講演会では、「生命の授業」と題して、飲酒運転による交通事故で娘を亡くされた

江角由利子さんにご講演いただきました。事故直後のショックと「生きていれば…」という家族の思いを話され、命のはかなさや尊さ、命あることのありがたさについて考えることができました。

大田市小中学校連合音楽会

十一月六日（水）、大田市市民会館において大田市小中学校連合音楽会が開催されました。

高山小学校は三年生から六年生までの十九名が参加し「元氣 勇気 ちから」（合唱）、「オレンジ」（合奏）の二曲を発表しました。九月中旬から、音楽の時間や朝の会、放課後を使って一生懸命練習してきました。休み時間にも自主的に練習したり家庭でも練習を重ねたりして本番に臨みました。

ステージに立つとやはり緊張した様子でしたが、練習してきた成果を十分に発揮し、素敵な発表ができました。子ども達はやり遂げた達成感を味わい、満足そうな表情をしていました。今回の経験を通して、技術的なレベルアップはもちろん、できるまで努力し続ける強さも身についたと思います。また、他校の発表を聴くことができ、音楽の魅力も味わうことができました。



みーもスクール（高学年）

十月二十一日（月）、もりふれクラブの方に来ていただき、みーもスクールがありました。今回は、高学年がヒノキの丸太に電熱ペンで焼き目を付けるウッドバーニングと木の伐採を行い、間伐の目的と利用について教えていただきました。



第二回低学年集合学習

十月二十五日（金）、大森小学校と一緒に仁摩健康公園に出かけました。前半は、合同の五つのグループに分かれ、公園内の「秋見つけ」を行いました。色づいた落葉や木の実など、準備した袋いっぱいには秋を集めました。後半は公園内の遊具で自由遊びを楽しみました。秋晴れの空のもと季節を感じながら学ぶことができました。



まち探検終了（二年）

十月九日は水上、十六日は祖式、三十一日は大代のまち探検に出かけました。自分たちの住む町を探検することで今まで知らなかった町の様子や町のよさ、魅力を発見し、地域に愛着をもつことができることをねらいとしています。

初めて訪れる場所で、初めて見るものや聞いたことがたくさんあり、熱心にメモを取っていました。お忙しい中、子ども達の質問に丁寧に答えていただいたおかげで、充実した学習となりました。本当にありがとうございました。



味覚の授業（プロに学ぶその一）

十月三十一日に「味覚の授業」を行いました。「味覚の授業」とは、全国各地子ども達への食育活動を行っている団体『味覚の一週間』がシェフやパティシエ、

生産者達が子ども達に味の基本や五感を使って食べる大切さを教える取組です。本校の授業では、大田市でぶどうを生産している宇谷元希さんがメイン講師として授業をしてくださいました。地元の食材を使った「塩味（メカブの藻塩）」「酸味（柚子酢）」「苦味（抹茶寒天）」「甘味（単花蜜）」「旨味（だし）」の五つの味を五感を使って味わい、味の奥深さを学ぶことができました。



ものづくり体験（プロに学ぶその二）

十一月十二日に「ものづくりマイスター」による体験教室を行いました。講師に出雲市で建具店を経営されている藤原正さんをお迎えし、日本の伝統工芸『組子細工』を体験させてもらいました。組子細工とは、釘を使わずに木を幾何学的な文様に組み付ける木工技術のことをいいます。子ども達は正確に加工された材料を手順通りに組み立てていきます。隙間なく仕上がるようになっていたためはめ込む作業に苦労しながらも、作品ができあがると、つくる面白さを味わったようです。



アスリート派遣事業（プロに学ぶその三）

十一月十四日に「アスリート全国派遣プロジェクト（アスリート）」を行いました。これはスポーツ庁主管・日本テレビ運営による学校訪問事業です。五輪メダリストや元プロ選手など、スポーツ界で活躍したアスリート・パラアスリートが体育の先生として授業を行います。今回来校していただいたのは、日本代表としても活躍した元プロバスケ選手、川面茜さんです。授業の中で、いろいろな運動を経験したり、頭で考え、言葉で伝えたりすることの大切さを学びました。そして、「周りの人に感謝の気持ちを声に出してきちんと伝えてほしい」というメッセージをいただきました。

